

## ❁ 23 価肺炎球菌ポリサッカライドワクチンについて

肺炎球菌は93種類あるとされ、高齢者肺炎球菌ワクチンは、このうち23種類に対して予防効果が期待でき、この23種類が原因とされる肺炎が、肺炎球菌性肺炎の約8割にあたります。肺炎球菌ワクチンは、肺炎のすべてを予防するワクチンではありませんが、接種することによって、重篤化防止などの効果が期待されます。

## ❁ Q & A

### ① 過去に肺炎になったり、肺炎球菌感染症にかかったりしたことがあるのですが、定期接種の対象者になりますか？

肺炎の原因は様々な原因でおこり、また肺炎球菌には多くの血清型がありますので、過去に肺炎や肺炎球菌感染症にかかっている場合でも、定期接種の対象になります。

### ② 23 価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチンの接種歴があるのに、誤って再接種してしまいました。健康被害が発生する可能性はありますか？

過去5年以内に、23 価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチンを接種されたことのある方が、再度接種された場合、注射部位の疼痛、紅斑、硬結等の副反応が、初回接種よりも頻度が高く、程度が強くと報告がありますので、接種歴を必ず確認して接種を受けてください。

### ③ インフルエンザ予防接種との同時接種はできますか？

(インフルエンザの定期予防接種は10月～実施予定です)

同時接種に関しては、医師が認めた場合可能となっています。北谷町保健相談センターで「できる」「できない」の判断はできません。

### ④ インフルエンザ予防接種との接種間隔はどれくらいあければ良いですか？

どちらも不活化ワクチンなのでどちらかを接種した後、7日以上あければ接種できます。

### ⑤ 前回接種してから、5年が経過しました。また予防接種が必要ですか？

5年に一度接種が必要という事ではありません。一般的に成人の方は一回の接種で免疫がつくと言われていています。(※心臓・腎臓等の機能に障害を有する方等、かかりつけ医から再接種をすすめられた方を除く) また、過去に一度でも23価肺炎球菌ポリサッカライドワクチンを接種した事がある方は、助成対象外です。

例)

・74歳(今年度中に75歳に到達しない)で過去に接種してから5年経過している。

→定期予防接種・行政措置予防接種の**どちらも対象外**です。

・75歳(今年度中に75歳になる)で過去に1度も接種したことがない。

→**定期予防接種の対象**となります。

・75歳(今年度中に75歳になる)で5年以上前に接種したことがある。

→**定期予防接種・行政措置予防接種のどちらも対象外**です。

